

2025（令和7）年12月2日 報道発表資料
〔本リリース発信元〕 ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）



ロームシアター京都 10 周年のお誕生日！
子どもからおとなまで、みんなで楽しめる特別な 2 日間！

〈10 周年記念事業〉

プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデー

日時：2026 年 1 月 10 日（土）・11（日）10 時スタート！

会場：ロームシアター京都 全館

〔本リリースに関するお問合せ先〕

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

広報担当：山本、儀三武

電話：075-771-6051（10：00～17：00） FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■企画趣旨

ロームシアター京都は 2016 年 1 月 10 日に京都会館からリニューアルオープンし、2026 年 1 月に 10 周年を迎えます。節目となる 1 月 10 日・11 日には「プレイ！シアター for the 10th anniversary」と題し、劇場全体が祝祭空間に変わります。古典芸能やコンサートなどの多彩なステージ、これまでの歩みとこれからの未来を体感できる体験型のプログラム、劇場について考えるトークイベントなど、子どもから大人まで楽しめる多彩なオープンデイ企画が繰り広げられます。これまでの歩みとこれからの未来を体感しながら、一緒に 10 周年をお祝いしましょう！

■「プレイ！シアター」について

ロームシアター京都がリニューアルオープン 1 周年を迎えるにあたり、2017 年 1 月 10 日に初めて開催した「プレイ！シアター」。「劇場で遊ぼう！」をキャッチコピーにより多くのみなさまにロームシアター京都を楽しんでいただくための特別企画として実施しました。それ以降、毎夏「プレイ！シアター in Summer オープンデイ」を開催。あわせてロームシアター京都のバックステージを巡ったり、建物の秘密を探ることのできる「劇場ツアー」、劇場のしかけを体験できる「舞台スタッフワークショップ」、世界レベルのパフォーマンスをこどもから大人まで楽しめる「ステージプログラム」も実施してきました。コロナ禍においては、「プレイ！シアター at HOME 2020」として、オンラインで実施を継続し、近年では、1 万人を超えるこどもたちとその保護者や仲間が集まる大人気イベントとなりました。



「プレイ！シアター in Summer 2025」の様子 SHINSEKI Inc.

■10周年メインビジュアルについて

「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデイ」の
フライヤーメインビジュアルは、tupera tuperaによる 鯨^{くじら}！

岡崎公会堂から京都会館、そしてロームシアター京都へ。時代とともに姿を変えながら場の記憶を継承してきた本劇場は、伝統芸能から現代演劇やダンスまで、多彩な表現を生みつづける文化の場でありつつ、併設するブック&カフェ、周りを囲む公園、寺社、文化施設など、様々な人々が交差する生活の場として、「劇場」の在り方をつねに刷新しつづけてきました。そんなロームシアター京都らしさにカタチを与えたのは、京都を拠点に活躍する tupera tupera です。俯瞰したロームシアター京都の建築の形の類似を起点に、京都の海をたゆたう「鯨＝クジラ」に^{あやか}り、劇場に宿るスピリットを具現化しました。奇しくも「鯨」には「京」の字が覗きます。多様な存在を包み、神話や芸術作品にも多く登場する創造と神秘の生物である鯨は、ロームシアター京都という変化しつづける有機体そのもの。建築家・前川國男の設計、そしてそれを継承した香山壽夫の想いも宿して、海がどこまでもつながっているように、世界へ、未来へと、京都の海から波を起こしつづけます。誰かの何かの「つづき」がいつでも「はじまり」となる、生きた場であることを願って。

※「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデイ」開催日から原画をロームシアター京都内に展示予定です。

アート：tupera tupera（亀山達矢、中川敦子）

デザイン：北原和規（UMMM） 写真撮影：山地憲太

フライヤーデザイン：宗 幸

tupera tupera | ツペラツペラ

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。著書に「かおノート」（コクヨ）「やさいさん」

（Gakken）「いろいろバス」（大日本図書）「うんこしりとり」（白泉社）など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。絵本「しろくまのパンツ」（ブロンズ新社）で第18回日本絵本賞読者賞、Prix Du Livre Jeunesse Marseille 2014（マルセイユ 子どもの本大賞 2014）グランプリ、「パンダ銭湯」（絵本館）で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリ、「わくせいキャベジ動物図鑑」（アリス館）で第23回日本絵本賞大賞を受賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

tupera tupera 公式 WEB サイト：<https://tupera-tupera.com/>



photo shingo mitsuno

10 周年記念メインビジュアルに寄せて

10 周年のメインビジュアルの依頼をいただいてロームシアター京都を訪れた時、劇場全体が、ひとつの大きな生き物のように感じた。

メインホールの赤い座席やカーテンは内蔵、照明を吊るすトラスは背骨、そして誰もいないホールの暗闇は、まさに何かに飲み込まれたような感覚だった。

さらに外に出て建物全体を眺めていると、風合いのあるレンガはフジツボ、中庭のタイルは波紋、そして、大きく張り出した象徴的な屋根は尻尾のようにみえた。そう、ロームシアター京都は鯨だと思った。

“鯨”の漢字の中に“京”という文字がはいっていることに気がついた時、ロームシアター京都の10周年ビジュアルに相応しいモチーフは、鯨だと確信した。

制作工程としては、まずドローンを使って様々な角度から建物の外観を撮影し、その写真を何枚もプリントした。

それをアトリエの床に広げて、鯨にみえる部分を切り出しては張り合わせて作っていった。

鯨の周りには、10周年を祝う様々な人やキャラクターが集ってきている。この先も京都に息づく鯨は、たくさんの表現者たちと共に、多くの人を楽しませてくれることだろう。

さあ、あなたもロームシアター京都を鯨だと感じながら探検してみよう。きっと今までとは違った発見がたくさんあるはずだ。

tupera tupera



PHOTO: Shunsuke Sakai

■ タイムテーブル

Time Table						
1/10 (土)						
	メインホール	サウスホール	ノースホール	パークプラザ 3階共通ロビー	2階共通ロビー	ローム・スクエア プロムナード その他
10:00						
11:00		10:30-12:30 三番罌づし		10:00-12:00 にんぎょうげき☆ ひろば	10:00-18:00 〈巡り堂〉から つながる “アート”の環	10:00-18:00 プロムナード南 パークプラザ1階 アニバーサリー・ マルシェ
12:00						
13:00		12:45-19:00ごろ ロームシアター京都 10周年記念 「饗開き」	10:00-18:00 山城大督 ディレクション 「KYOTO RECORDS」	13:15-14:15 「ロームシアター京都 は経くはら」? Jupera Jupera トーク	10:00-18:00 京都の舞台芸術・ アンテナブース	10:00-18:00 全館各所 アルタ・カベッラ (古楽器の 管楽バンド)
14:00	13:00-15:00 Anniversary Stage in メインホール	14:15-15:15 京都コンサートホール 登録アーティストによる コンサート①				
15:00	15:00-17:00 「劇場ってどんな場所? ひとの集まる場所の未来」 小山田徹×藤原辰史 ×鷲田清一 クロストーク	15:45-16:45 京都コンサートホール 登録アーティストによる コンサート②		14:30-18:00 「劇場文化」に ついて考える トーク	10:00-18:00 みんなでつくる くじらの仲間たち!	10:00-18:00 全館各所 スタンプラリー
16:00						
17:00	17:00-18:00 Anniversary Stage in メインホール	17:15-18:15 京都コンサートホール 登録アーティストによる コンサート③				17:00-19:00 ローム・スクエア ちっちゃい焚き火 (薪ストーブ)を 囲んで語り会
18:00						
19:00						
1/11 (日)						
	メインホール	サウスホール	ノースホール	パークプラザ 3階共通ロビー	2階共通ロビー	ローム・スクエア プロムナード その他
10:00				10:00-11:00 ストレッチ	10:00-18:00 〈巡り堂〉から つながる “アート”の環	10:00-18:00 プロムナード南 パークプラザ1階 アニバーサリー・ マルシェ
11:00				11:15-12:15 ダンス! ワークショップ		
12:00		12:30-13:30 5台のピアノと 5人のピアニスト 第1部	10:00-18:00 山城大督 ディレクション 「KYOTO RECORDS」	13:15-14:45 ニットキャップ シアター 朗読&トーク	10:00-18:00 京都の舞台芸術・ アンテナブース	10:00-18:00 全館各所 アルタ・カベッラ (古楽器の 管楽バンド)
13:00	13:00-17:00 Anniversary Stage in メインホール	14:00-14:30 5台のピアノ関連トーク①				
14:00		15:00-16:00 5台のピアノと 5人のピアニスト 第2部		15:00-17:45 「劇場文化」に ついて考える トーク	10:00-18:00 みんなでつくる くじらの仲間たち!	10:00-18:00 全館各所 スタンプラリー
15:00		16:00-16:30 5台のピアノ関連トーク②				
16:00		17:00-18:00 5台のピアノと 5人のピアニスト 第3部				
17:00						
18:00						

■プログラム詳細(1月10日(土)・11日(日)両日開催)

※両日開催、10日のみ開催、11日のみ開催の順にご紹介します

ロームシアター京都リニューアル10周年記念 Anniversary Stage in メインホール

一般公募によって演劇・ダンス・音楽・パフォーマンスなど、多彩なジャンルの表現者が集います。これまでロームシアター京都に関わってくださった皆様、そしてこれからを共に創ってくださる皆様と一緒に10周年の節目を盛り上げる記念のステージです。

日時：10日(土) 13:00-15:00/17:00-18:00、11日(日) 13:00-18:00

会場：メインホール

無料・申込不要

出演者：

10日 | 飯川椎奈、一般社団法人 京都當道会、京都府合唱連盟、森 市佳・岩室瑠花、サクソフォンカルテット azalée

11日 | 有馬えり子/一般社団法人京都バレエ団、幻灯劇場、Smooth Dance Studio、Dance Sense Movement、10th Anniversary Ballet Celebration、MAHANA Tiare Oritahiti、Team Kaida RG、京都市立岡崎中学校・福井県坂井市立三国中学校合同吹奏楽部、Dance school Falling star、京都文教中学高等学校 ダンス部

※終了時刻はいずれも予定

※タイムスケジュールについては、ロームシアター京都 WEB ページで後日公開します。

※出演者の掲載順不同(出演順ではありません)

山城大督ディレクション「KYOTO RECORDS」

劇場内には多彩なアーティストやクリエイターによる自由な発想のブースやワークショップが並びます。そこはさながら「記録・記憶」のテーマパーク。過去・現在・未来が交差する特別な2日間です。

日時：10日(土)、11日(日) 10:00-18:00

会場：ノースホール、プロムナード北側

無料・申込不要

※一部有料、要事前申込。詳細はロームシアター京都 WEB ページで後日公開します。

参加アーティスト：

Aokid、池上恵一、小倉笑、思い出させ屋、下道基行(瀬戸内「」資料館)、蓮沼執太、山城大督、ゆかい(池田晶紀+池ノ谷侑花)、ほか
空間設計：REUNION STUDIO グラフィックデザイン：浦川彰太

山城大督 | Daisuke Yamashiro

映像の時間概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない〈時間〉を作品として展開する。2006年よりアーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」を結成し、全国各地で作品を発表。また、山口情報芸術センター[YCAM]にてエデュケーターとして、オリジナルワークショップの開発・実施や、教育普及プログラムを多数プロデュース。近年は映像や音、光、家具を配置する上演型インスタレーションを制作している。近年の主な展覧会に、「Homō loquēns『しゃべるヒト』——ことばの不思議を科学する」国立民族学博物館(2022、大阪)、山城大督展「パラレル・トラベル」高鍋町美術館(2019、宮崎)など。第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。Twelve Inc. 代表取締役。



©MIYAKE Kotaro

〈つむぎのステージ〉 「劇場文化」について考えるトーク

10日には、「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデイ」の関係者を中心に多角的なテーマによって「劇場文化」について考えます。

11日には、劇場の継続事業である「リサーチプログラム」の参加リサーチャーを中心に、その後の展開や現在の関心をもとに議論を深めます。

日程：10日（土）、11日（日） ※時間については以下参照

会場：パークプラザ 3階共通ロビー

無料・申込不要

10日のラインアップ

①14:30－15:00

伝統と現代の接続

山本太郎（ニッポン画家）、井上安寿子（京舞井上流舞踊家）

②15:15－16:00

アルタ・カペッラ、古楽とひらかれる劇場

菅沼起一（リコーダー奏者・音楽学者）

③16:15－16:45

捨てないから生まれるもの ――画材循環プロジェクト〈巡り堂〉の試み

画材循環プロジェクト「巡り堂」

④17:00－18:00

ロームシアター京都の再整備にかけた想い ―劇場を未来へつなぐデザイナー―

下川太一（香山建築研究所 設計主任）

11日のラインアップ

ディスカッサント：吉岡洋、若林朋子（リサーチプログラムメンター）

⑤15:00－15:45

現代における伝統芸能

林立騎、土屋和歌子（ともに、那覇文化芸術劇場なは一と）

⑥16:00－16:45

子どもと舞台芸術

渡辺健一郎（俳優、批評家）、振子ぴじん（ダンサー、振付家）

⑦17:00－17:45

舞台芸術のアーカイヴ

新里直之（演劇批評）、筒井潤（演出家、劇作家）

京都の舞台芸術・アンテナブース

KYOTO EXPERIMENT、京都芸術センター、NPO 法人京都舞台芸術協会による ブース展示。京都の現代舞台芸術のこれまでを知って、これからにつなぐ情報が盛りだくさんです。

日時：10日（土）、11日（日）10:00－18:00
会場：2階共通ロビー（メインホール入口前）
無料・申込不要

〈巡り堂〉からつながる“アートの環”

誰かの日常や創作を支えた道具たちが、時を越えて再び人の手へと巡る―「巡り堂」は、資源の循環を促しながら、つくる人々をつなぎ、育むプロジェクト。巡り堂の画材で、新たな出会いと創作を楽しみましょう。



「〈巡り堂〉の”つながる”お絵かきコーナー」の様子
2025年、SHINSEKI Inc.

日時：10日（土）、11日（日）10:00－18:00
会場：2階共通ロビー
無料・申込不要

企画・画材提供：画材循環プロジェクト「巡り堂」
（みずのき美術館、一般社団法人 ALL JAPAN TRADING、親谷茂）

みんなでつくる くじらの仲間たち！

tupera tupera が手がけた、10周年記念のメインビジュアル「くじら」のまわりに、みんなが作った仲間たちが集まっていくプロジェクトです。

日時：10日（土）、11日（日）10:00－18:00
会場：2階共通ロビー
無料・申込不要

菅沼起一プロデュースによるアルタ・カペッラ（古楽器の管楽バンド）

研究者・リコーダー奏者として活動する菅沼起一がプロデュースする古楽器の管楽バンドが、劇場の各所で演奏を披露します。

日時：10日（土）、11日（日）10:00－18:00
会場：全館各所
無料・申込不要

出演者：上野訓子（コルネット）、小野和将（サクソバット）、淡島宏枝（ドゥルツィアン）、
菅沼起一（コルネットほか）

くす玉をわって、〇〇をお祝いしよう！

往来お祝い門付一座が、あなたをお祝い！一座オリジナルのくす玉をいっしょにわってみよう。館内各所でランダムに登場予定！

日程：10日（土）、11日（日）10:00－18:00
会場：全館各所
無料・申込不要

ユスカル！チャレンジ【みんなでオブジェを完成させよう！】

毎年秋にロームシアター京都のローム・スクエアを会場に開催される、公益財団法人 京都市ユースサービス協会主催の若者文化発信イベント「ユスカル！」。
今回は、参加者が4つのテーマに合わせて、ことばや絵を描き、オブジェに貼りつけていくと、「ユスカル！」のロゴや、若者が「ユスカル！」からイメージを広げて考えた、お花や虹のデザインが浮かび上がってきます。

日時：10日（土）、11日（日）10:00～18:00

会場：未定 ナビゲート：「ユスカル！2025」企画ボランティア

主催：京都市東山青少年活動センター、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

スタンプラリー

ロームシアター京都の全館を巡るスタンプラリー。プレイ！シアター特設総合案内で台紙をもらって、スタートしよう！

日時：10日（土）、11日（日）10:00～18:00

会場：全館各所

無料・申込不要

アニバーサリー・マルシェ

お誕生日をお祝いする蔦屋書店セレクトのマルシェです。フードの販売もあります！

※フードは売切れ次第終了

日時：10日（土）、11日（日）10:00～18:00

会場：プロムナード南、パークプラザ1階

有料・申込不要

フード：京都おむすび Cafe れりまの、ぱんだの散歩

共催：京都岡崎 蔦屋書店



「プレイ！シアター in Summer 2025 オープンデー」の様子
2025年、PHOTO: Shunsuke Sakai

■プログラム詳細（1月10日（土）のみ開催）

ロームシアター京都 10周年・京都コンサートホール 30周年記念事業

“いま”を考えるトークシリーズ Vol.27

「劇場ってどんな場所？ ひとの集まる場所の未来」

小山田徹（京都市立芸術大学学長、アーティスト）× 藤原辰史（京都大学人文科学研究所教授、歴史学者） × 鷲田清一（京都コンサートホール館長、哲学者） クロストーク

10周年を機に、わたしたちと「劇場」という場所のこれまでとこれからについて考えをめぐらせてみませんか。

日時：10日（土）15:00～17:00 会場：メインホール

申込方法：専用予約フォームあるいは FAX（075-746-3366）でお申し込みください。FAXには、お名前、参加人数、ご連絡先のメールアドレス及び電話番号をご記入ください。

専用予約フォーム：<https://business.form-mailer.jp/fms/4b384e79297364>

無料・申込優先

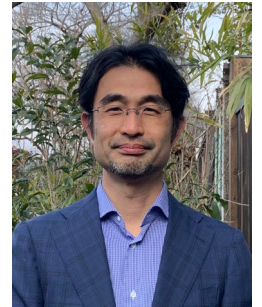
小山田 徹 | Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アーツケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。京都市芸術大学学長。



藤原辰史 | Tatsushi Fujihara

1976年生まれ。専門は食の思想史、ドイツ現代史。2002年、京都大学人間・環境学研究科中途退学、同年、京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師、京都大学人文科学研究所准教授を経て、現在、同教授。研究テーマは、食と農の現代史。生態系の中に組み込まれた人間の在り方から、現代史を再構築する試みを続けている。主な著作に『ナチスのキッチン』（共和国、河合隼雄学芸賞）、『給食の歴史』（岩波新書、辻静雄食文化賞）、『トラクターの世界史』（中公新書）、『分解の哲学』（青土社、サントリー学芸賞）、『縁食論』（ミシマ社）、『農の原理の史的研究』（創元社）、『歴史の肩拾い』（講談社）、『植物考』（生きのびるブックス）、『食権力の現代史』（人文書院）、『生類の思想』（かたばみ書房）など。



鷲田清一 | Kiyokazu Washida

1949年京都生まれ。哲学者。京都コンサートホール館長。サントリー文化財団副理事長。朝日新聞「折々のことば」執筆者。京都大学大学院文学研究科（哲学）博士課程修了。関西大学教授、大阪大学教授、同大学院文学研究科長・文学部長、大阪大学理事・副学長、大阪大学総長、大谷大学教授、京都市立芸術大学理事長・学長を歴任。主な著書に、『モードの迷宮』『「聴く」ことの力』『「弱さ」のちから』『だれのための仕事』『顔の現象学』『「待つ」ということ』『つかふ』『所有論』など多数。サントリー学芸賞、桑原武夫学芸賞、読売文学賞受賞、和辻哲郎文化賞学術部門受賞。京都市文化功労者、京都府特別文化功労賞、仙台市特別市政功労者。



《継承と創造》「三番叟づくし」

五穀豊穡を寿ぐ三番叟 多様な芸能が一堂に会する
ロームシアター京都 10周年のアニバーサリーにあ
たるこの日、様々な芸能の「三番叟」が一堂に会し
ます。

「三番叟」は、天下泰平を祈る「翁」に続き演じら
れる五穀豊穡を寿ぐ舞です。狂言「三番叟（三番三）」
のほか、人形浄瑠璃や歌舞伎でも「三番叟もの」と
よばれる多くの演目があり、また日本各地のさまざ
まな郷土芸能においても祝言の舞として演じられて
います。本公演では狂言（能楽）、淡路人形芝居（人形
浄瑠璃）、京舞（舞踊）、長唄（音曲）、早池峰岳神楽（神楽）と様々な「三番叟」演目を一挙上演
します。

10周年の節目に際し、暮らしの中に根ざし、人々の祈りとともに受け継がれてきた「三番叟」
という芸能を通して、いまに息づく芸能の豊かさと楽しさを、どうぞご堪能下さい。



画：山本太郎《三番叟三》Sanbaso-three

日時：10日（土）10:30 開演

会場：サウスホール

料金：全席指定

一般：5,500 円／会員特別価格 5,000 円、ユース（25 歳以下）：3,000 円

18 歳以下：1,000 円

チケット絶賛発売中

出演者：茂山千五郎（大蔵流狂言）、淡路人形座（淡路人形芝居）、杵屋勝七郎（長唄）、
岳神楽保存会（早池峰岳神楽）、井上安寿子（京舞井上流）

番組：

・狂言「三番三」

出演：（三番三）茂山千五郎／（千歳）茂山千之丞

（笛）杉信太朗／（小鼓）曾和鼓堂、古田知英、成田奏／（大鼓）谷口正壽

・淡路人形芝居「式三番叟」

出演：淡路人形座（吉田新九郎、吉田廣の助、吉田幸路）

・長唄「三番叟組曲」

出演：（唄）杵屋禄三、今藤小希郎、杵屋寿典

（三味線）杵屋勝七郎、杵屋寿哉、杵屋寿希

（小鼓）藤舎清鷹、中村壽慶／（大鼓）藤舎悦芳／（太鼓）望月太意作／（笛） 藤舎伝生

<休憩>

・早池峰岳神楽「三番叟」

出演：岳神楽保存会（伊藤金人、小國朋身、小國光浩、鎌津田一夫、藤原幸喜、柳田和行、
柳田岳音）

・京舞「寿三番叟」

出演：（立方）井上安寿子

（唄）だん満、もも／（三味線）ます穂、恵美華／【囃子（小鼓）豆まる／（大鼓）紫乃／
（太鼓）真咲／（笛）まめ鈴】

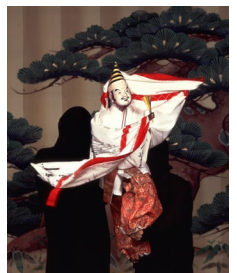
茂山千五郎 | Sengoro Shigeyama（狂言）

4 歳の時に『以呂波』のシテにて初舞台。その後『三番三』『釣狐』『花子』『狸腹鼓』
を披く。現在は「茂山狂言会」「Cutting Edge KYOGEN」、弟茂との兄弟会「傳之会」、落
語家桂よね吉との二人会「笑えない会」を主催し、幅広い年代層へ狂言の魅力を伝える。
また上海京劇院・巖慶谷や川劇変面王・姜鵬とのコラボ公演など、他ジャンルとの共演
も精力的に行う。平成 28 年 十四世茂山千五郎を襲名。



淡路人形座 | Awaji Ningyoza（淡路人形芝居）

500 年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形浄瑠璃。最盛期の 18
世紀初めには 40 以上の座元が覇を競い、日本全国を巡業し各地に人形芝居を伝えた。
大きな人形を遣った派手でケレン味のある演出が特徴。淡路人形座は 1964 年に江戸時
代から続く吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた。常設館で公演する一方、
国内外への出張公演や後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、
伝統人形芝居の普及、発展のための活動も積極的に行っている。



杵屋勝七郎 | Katsushichiro Kineya（長唄）

1960 年京都生まれ。10 歳で三味線をはじめ 15 歳で南座の三代目市川猿之助公演にて初舞台、同年杵屋寿浩の名前を許される。2010 年二代目杵屋勝七郎を襲名。海外公演を含む年間百以上の公演をこなし、作曲活動、講演、後進の指導にあたる。舞台はもちろん、テレビ・ラジオにも数多く出演し、洋楽、落語等、他の芸術とも積極的に交流。自らのリサイタル<としひろ会><二題の会>を主宰。一般財団法人杵勝会理事。



撮影_浅野功

岳神楽保存会 | Hayachine Take Kagura（早池峰岳神楽）

岳神楽が伝承されている岳地区は岩手県花巻市大迫町の中心部から北東に 18km。集落としては最も早池峰山の近くに位置している。岳地区には早池峰の神を奉る早池峰神社があり、岳神楽はその奉納神楽。昭和 51 年に「早池峰神楽」として、国指定重要無形民俗文化財（第 1 号）に指定され、平成 21 年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。



井上安寿子 | Yasuko Inoue（京舞）

1988 年能楽観世流九世観世鍬之丞と京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。2 歳より稽古を始め、四世及び五世井上八千代に師事。3 歳で「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台（上方唄「七福神」）。2006 年井上流名取となる。2013 年井上安寿子主宰の舞踊公演「葉々（ようよう）の会」を発足。2015 年学校法人「八坂女紅場学園」（祇園女子技芸学校）の舞踊科教師になる。京都市芸術新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。公益社団法人日本舞踊協会会員。京都芸術大学舞台芸術学科非常勤講師。



ロームシアター京都 10 周年記念「鏡開き」

《継承と創造》「三番叟づくし」の出演者の皆様とともに 10 周年記念をお祝いします。鏡開きとふるまい酒の酒樽は、左京区内唯一の酒蔵である松井酒造株式会社からご提供いただきます。

日時：10 日（土）12:45－13:00 ごろ

会場：サウスホール ホワイエ

無料・申込不要

〈ひびきのステージ〉 京都コンサートホール登録アーティストによるコンサート

日時：10 日（土）①14:15－15:15、②15:45－16:45、③17:15－18:15

会場：サウスホール ホワイエ

無料・申込不要

出演者：①福田優花（ピアノ）・宮國香菜（ピアノ）、
②DUO GRANDE（上敷領藍子〈ヴァイオリン〉・朴梨恵〈ヴィオラ〉）、
③福田彩乃（サクソフォーン）・多川響子（ピアノ）※
※以外は京都コンサートホール登録アーティスト

〈つむぎのステージ〉にんぎょうげき☆ひろば

人形劇の上演を楽しんだあと、実際に人形にさわってうごかしてみたり、糸あやつり人形の動きや仕組みを体験できます。小さなお子さまから大人まで、どなたでもご参加いただけます。

日程：10日（土）※途中休憩あり

時間：10:15ー、10:45ー、11:15ー、11:45ー、12:15ー

※チラシでは12:00までと記載しておりますが、上記の通り変更いたします。

会場：パークプラザ 3階共通ロビー

無料・申込不要

出演：糸あやつり人形劇団みのむし



「マリオネットガーデンとちいさなパフォーマンス」の様子
2025年、SHINSEKI Inc.

〈つむぎのステージ〉 トーク「ロームシアター京都は鯨（くじら）!？」

ロームシアター京都 10周年のメインビジュアルは鯨（くじら）！ 原画を描いた tupera tuperaをはじめとした制作メンバーで制作秘話を語ります！

第2部では建築視点でロームシアター京都の魅力を探っていきます♪

日時：10日（土）13:15ー14:15

会場：パークプラザ 3階共通ロビー

無料・申込不要

出演者：tupera tupera（亀山達矢、中川敦子）、山地憲太（カメラマン）、
北原和規（デザイナー）、下川太一（香山建築研究所 設計主任）※
※第2部のみ

第1部 メインビジュアル「くじら」ができるまで 創作秘話

ロームシアター京都の10周年を祝うメインビジュアルの「鯨（くじら）」の謎を、原画を描いた tupera tupera、デザイナーの北原和規、カメラマンでトレーラー制作をてがげた山地憲太の制作メンバーで語りあいます。

第2部 「くじら」のカタチのひみつ 建築の視点から

ロームシアター京都は、京都会館をつくった前川國男さんの意匠を香山壽夫さんが継承しながらつくられました。建築意匠を活かしたくじらへと変身したメインビジュアルから、香山建築研究所の下川太一さんと共に話していきます。

ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会

多様な人々が緩やかに繋がり、出会うことのできる「共有空間」を創る試みとして、有志の火守さんと共に続けてきた秋の風物詩を特別開催。

日時：10日（土）17:00ー19:00

会場：ローム・スクエア

無料・申込不要

ホスト：小山田徹（京都市立芸術大学学長、アーティスト）



撮影：中谷利明

■プログラム詳細（1月11日のみ開催）

饗宴！5台のピアノと5人のピアニスト

5台のピアノが織りなす音楽の饗宴

2026年1月に10周年を迎えるロームシアター京都。これまで数々の公演を彩ってきた5台のピアノたちが、開館以来初めて一堂に集結します。各回違うテーマでのプログラムを3公演行います。様々なピアノの編成を、これからの日本音楽界を率いるピアニストたちの演奏によって堪能するコンサートです。



日時：11日（日）第1部 12:30 開演／第2部 15:00 開演／第3部 17:00 開演

開場は各部開演の30分前

上演時間：各部約60分

会場：サウスホール

料金：全席指定

一般：2,000円／会員特別価格1,800円、ユース（25歳以下）：1,000円

一般1日券：完売

チケット絶賛発売中

出演者：中野翔太、金子三勇士、小井土文哉、高木竜馬、山縣美季

プログラム：

[第1部]”冒険のピアノ”

モーツァルト：トルコ行進曲、ホルスト：組曲『惑星』より＜金星＞、ラヴェル：ボレロ、ほか

[第2部]”情景のピアノ”

ワーグナー：楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より＜前奏曲＞、ラフマニノフ：2台ピアノのための組曲第2番より 第3曲＜ロマンス＞、レスピーギ：『ローマの祭り』より＜主顕祭＞、ほか

[第3部]”饗宴のピアノ”

ホルスト：組曲『惑星』より＜木星＞、ドビュッシー：月の光、ミヨー：スカラムーシュ、ほか

中野翔太 | Shota Nakano

1999年からジュリアード音楽院プレ・カレッジに留学。同音楽院を経て、2009年に同大学院を卒業。第15回出光音楽賞受賞。これまでにデュトワ指揮/NHK交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、小澤征爾指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、アシュケナーズ指揮/NHK交響楽団等と多数共演。

近年は、大植英次指揮/大阪フィルとガーシュウィン『ラプソディー・イン・ブルー』、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団とシェーンフィールド『4つのパラブル』を共演、神奈川県民ホールで開催された『浜辺のアインシュタイン』に出演した他、坂本龍一氏の指名によりピアノとオーケストラの作品を演奏。圧倒的な技術に裏打ちされた、豊かな表現力と透明な音色が高く評価されている。



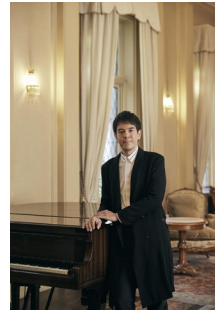
©Taira Tairadate

金子三勇士 | Miyuji Kaneko

1989 年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6 歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。11 歳でハンガリー国立リスト音楽院大学に入学。全課程取得後に帰国し、東京音楽大学付属高等学校を経て東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。2008 年、バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。第 22 回出光音楽賞他を受賞。

これまでにゾルタン・コチシュ、小林研一郎、ジョナサン・ノット他と共演。国外でも広く演奏活動を行っている。

NHK-FM「リサイタル・パッショ」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。ドイツ・グラモフォンより CD「フロイデ」他をリリース。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。



©Seiichi Saito

小井土文哉 | Fumiya Koido

第 87 回日本音楽コンクール、第 15 回ハイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール（イギリス）をはじめ、国内外の多数のコンクールで優勝を果たす。

2022 年 5 月には英ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして英国ツアーを行い好評を博した。その他、国内でも読売日響、東京フィル、東響、日本フィル等と共演多数。英 BBC ラジオ 3、NHK クラシック倶楽部や NHK-FM「リサイタル・パッショ」等国内外のメディアに出演。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。桐朋学園ソリストディプロマコースを経て、イタリア・イモラ音楽院を修了。現在同音楽院ポスト・ディプロマコースに在学中。深川美奈、須田真美子、ボリス・ベトルシャンスキーの各氏に師事。



©Yuji Ueno

高木竜馬 | Ryoma Takagi

第 16 回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第 26 回ローマ国際ピアノコンクールなど 7 つの国際コンクールで優勝。これまでに、オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK 交響楽団、大阪フィル、京都市交響楽団など国内外のオーケストラと共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動が続けている。

NHK 総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK E テレ『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。デビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。



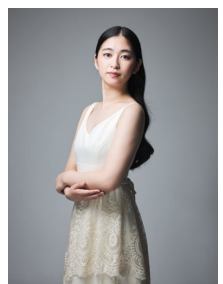
©井村重人

山縣美季 | Miki Yamagata

2002 年鎌倉市出身。第 89 回日本音楽コンクールピアノ部門第 1 位。第 44 回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。かながわ音楽コンクールでユースピアノ部門とピアノ部門の両方でコンクール史上初の同年二冠を果たす。これまで、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。第 7 期東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2022 年シャネル・ピグマリオン・デイズ参加アーティスト。2022、2023 年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2023 年度青山音楽財団奨学生。

東京藝術大学卒業後、パリ国立高等音楽・舞踊学校第 2 課程ピアノ科に在籍中。

Hortense CARTIER-BRESSON、Fernando ROSSANO、東誠三、日比谷友妃子の各氏に師事。



©Taira Tairadate

〈ひびきのステージ〉 「饗宴！ 5 台のピアノと 5 人のピアニスト」

関連トークイベント

本公演に出演するピアニスト、普段は裏方としてコンサートを支える 調律師が登壇予定です。
どうぞお楽しみに！

日時：11 日①14:00－14:30、②16:00－16:30

※終演時間により、開始時間が少々遅れる可能性がございます。

会場：サウスホール ホワイエ

無料・申込不要

〈つむぎのステージ〉 朝から元気に！GM ストレッチ&ダンス

朝の光の中で音楽と一緒に体を動かす時間。ストレッチで目を覚まし、ダンスでエネルギーをプラス！誰でもふらっと参加 OK。気軽に楽しむグッドモーニングアクティビティです。

日程：11 日（日）

時間：ストレッチ | ①10:00－10:15、②10:20－10:35、③10:40－10:55

ダンス！ワークショップ | ①11:15－11:30、②11:40－11:55、③12:00－12:15

会場：パークプラザ 3 階共通ロビー

無料・申込不要

ナビゲーター：しげやんこと北村成美（ダンサー・振付家）

〈つむぎのステージ〉 ニットキャップシアター

朗読&トーク 「新聞『土曜日』を読む・みる・語る」

ニットキャップシアター『土曜日の過ごし方』公演（2026 年 2 月上演）にさきがけ、モチーフである昭和初期の新聞「土曜日」を記事の朗読とトークで紹介。シネマ・ファッション・戦争の記事、喫茶店・洋服店の広告から 昭和初期の“京都”にせまります。

日時：11 日（日）13:15－14:45

会場：パークプラザ 3 階共通ロビー

無料・申込不要

朗読：ニットキャップシアター劇団員

トーク：井上史（編集者・ライター）、山下賢二（ホホホ座座長）、
ごまのはえ（ニットキャップシアター）

■プログラム詳細（1 月 10 日から「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデー」開催日以降も実施）

tupera tupera（ツペラ ツペラ）10 周年記念メインビジュアル原画展示

tupera tupera が手掛けた 10 周年記念メインビジュアルの原画を展示します。
コラージュによる原画ならではの風合いと細かな表現をお楽しみください。

日程：1 月 10 日（土）～ ※2026 年末頃まで展示予定

会場：プロムナード チケットカウンター横 ※プロムナードのオープン時間に準ずる

無料・申込不要

建築展示「京都会館／ロームシアター京都 65年の記録」

1960年に岡崎に誕生した京都会館は、2016年に大規模リノベーションを行いロームシアター京都として生まれ変わりました。本展では、京都会館建設当時の貴重な資料の展示や、過去の姿と現在の姿を写真等で比較することで、建築としての魅力を再発見しながらその歩みを辿ります。

日程：1月10日（土）－11月30日（月）※パークプラザ3階共通ロビーのオープン時間に準ずる
会場：パークプラザ3階共通ロビー
無料・申込不要

10周年アーカイヴ展示「つづきの記憶」

リニューアルオープン以来、数々の作品が発表されたロームシアター京都。過去の公演チラシやポスター、トレーラー映像、舞台上で使われた小道具などを通して、10年間の歩みを振り返ります。

日程：1月10日（土）－3月29日（日）
※1月10日（土）・11日（日）は10:00－18:00、それ以外の日程は10:00－17:00。
会場：パークプラザ3階ミュージックサロン
無料・申込不要

■チケット購入について

- ・《継承と創造》「三番叟づくし」
- ・饗宴！ 5台のピアノと5人のピアニスト
- ・オンラインチケット 24時間購入可※要事前登録（無料）
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201
（窓口・電話とも10:00～17:00／年中無休 ※臨時休館日を除く）
- ・京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231
（窓口・電話とも10:00～17:00／第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日）
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
《継承と創造》「三番叟づくし」 Pコード：536 -111
饗宴！ 5台のピアノと5人のピアニスト Pコード：305 -136
- ・e+（イープラス） <https://eplus.jp/>
※「饗宴！ 5台のピアノと5人のピアニスト」のみ取扱

■開催クレジット

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
協賛：株式会社サンエムカラー
協力：株式会社コングレ、松井酒造株式会社

■お問合せ

ロームシアター京都 TEL.075-771-6051（代表）、075-746-3201（チケットカウンター）